



# 鉾田市議会

# だより

No.5

秋号

平成18年11月30日発行

発行／鉾田市議会  
 発行責任者／鉾田市議会議長 小沼洋一  
 編集／鉾田市議会広報編集委員会  
 編集委員／新堀喜弘、水上美智子、入江晃、  
 小沼俊秀、飯塚幸右衛門、  
 山口徳、石崎良一、石津武吉



瀬沼と夕日 / 鉾田市箕輪地内

## 9月定例会

## 10月臨時会

- 定例会の概要 ..... P2～3
- 審議結果 ..... P3
- 平成17年度決算認定 ..... P4～5
- 一般質問 ..... P6～18
 

倉川陽好議員	市毛 勇議員	中山尚治議員	菅谷幸雄議員	須澤正孝議員
飯塚幸右衛門議員	出沼丈夫議員	勢司正躬議員	水上美智子議員	野口忠篤議員
入江 晃議員	下河邊一良議員	山崎 進議員	和田 茂議員	青木富美男議員
小川一彦議員	井川茂樹議員	石津武吉議員	方波見和彦議員	高野 衛議員
友部政徳議員	米川宗司議員	菅谷達男議員		
- 核実験反対決議 ..... P18
- 常任委員会活動状況 ..... P19
- 請願陳情 ..... P20

### 平成18年 第3回定例会

## 鉾田市国民健康保険条例、職員の勤務時間、 休暇等に関する条例の一部改正などを可決

健康保険法の改正により、出産育児一時金の支給額30万円を35万円に改めます。また、平成19年1月から17時30分まで開庁、本庁、各支所など15分延長します。

平成18年第三回定例会は、九月十一日から九月二十一日までの十一日間の会期で開催され、平成18年度一般会計補正予算をはじめ、鉾田市中企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例など、十五案件を可決、鉾田市固定資産評価審査委員会委員の選任についてが承認されました。動議によって議会議員の定数を次の一般選挙から26名とする条例改正案が提出され、賛成多数で可決しました。一般質問では、二十三人が登壇、執行部の考えを質しました。

#### 平成十八年 第三回定例会の概要

― 本会議一日目 (九月十一日) ―  
議長の開会宣告、会期の決定の後、市長より在日米軍再編に伴う百里基地訓練移転に係る協定書の締結の件について報告がありました。その後、市長から、議案14件、専決処分承認6件、決算認定9件の提案理由の説明が行われました。

― 全員協議会 (九月十一日) ―  
後期高齢者医療広域連合の設立の件と、妨害予防請求調停事件に関する調停条項(案)について、執行部より説明を受けました。

― 本会議二日目 (九月十四日) ―  
市政全般について、12名の議員が一般質問を行いました。

― 常任委員会 (九月十四日) ―  
産業経済建設常任委員会、総務企画常任委員会を開催し、委員会研修について協議を行いました。

― 本会議三日目 (九月十九日) ―  
14日に引き続き、11名の議員が一般質問を行いました。

― 全員協議会 (九月十九日) ―  
議員定数調査の件で、協議を行いました。

― 議会運営委員会 (九月二十日) ―  
議会運営委員会を開催し、追加議案の取扱いについて協議しました。

― 本会議四日目 (九月二十日) ―  
決算認定9件について質疑、討論、採決が行われました。

#### 常任委員会 (九月二十日)

市民生活常任委員会、文教福祉常任委員会を開催し、委員会研修について協議を行いました。

#### 本会議四日目 (九月二十一日)

最終日は、議案の質疑の途中、動議により議員定数削減の提案があり、全員協議会の結果と違うということから、議場を退席した議員が多数おり、出席催告を行いました。しかしそれによる出席を待たずして、当日欠席していた議員が出席してきたことよって、過半数に達し本会議を再開しました。そうした状況で、議案の採決、さらには、議長不信任案の動議提出があり賛成多数で可決しました。

### 主な質疑

**問** ほっとパーク鉾田の温泉の湧出量が減少したということで調査するという補正だとおもいますが、湧出量の確保はできるのか、お伺いいたします。

**答** 2号泉は1250mまで掘削をし、地上から710mの位置にポンプを設置し、揚湯していますが、湧出量の減少はポンプ以深の口内に不純物が付着し、口径が狭小になっていることが原因と考えられ、電気検層をし、その不純物を除去する工事です。

**問** 北浦網いけす養殖業再編対策事業費補助金の内容について、お伺いいたします。  
**答** 平成15年10月コイヘルペスが発生をし、

養殖業者が生産活動を行っていた網いけすを廃業することを基本に、そのいけすを撤去するもので今回の補正は、58面の撤去予定というものです。

**問** 出産資金貸付金について、10人分280万円ということですがその内容についてお伺いいたします。

**答** 今回条例改正案を提出していますが、35万円の80%を限度に貸付するもので、1人28万円ということです。多くの自治体において100%ではなく80%という状況です。貸付金ですので、返還を前提にしています。

**問** 少子化対策で財政も苦しい。合併をしない矢祭町では、財政改革を重ねながら、出産祝金を1人産めば100万円、2人産めば200万円、というように、町長がテレビに出演していました。なるほどと思いますが、そういう点についてお伺いいたします。

**答** 少子化の対策はいろいろな施策があると思います。議員ご指摘のことも含めて今後検討させていただきたいと思っております。

**問** 2年前、鉾田北幼稚園のバス購入は2台で760万円の予算のところ、577万5000円で落札されました。今回のつばさ幼稚園のバス2台の購入と車両の仕様が大きく違うのか、お伺いいたします。

**答** バスの仕様ですが、これは前回のバスと同じ仕様で、児童数41名、保護者が3名乗れるものです。

**問** 美原地区の排水工事ですが、あれは3年前にも約750万円をかけて浸透式でやったばかりで、目詰まりしてだめだからということですが、車の解体作業所から油が入っていると思います。そういう指導とかについて、お伺いいたします。

**答** 確かに油は、排水能力を低下させ住民からもそういう指摘があり、関係部署から指導したということもあります。従って、今回の設置に関してはさらに関係機関、関係部課と実態等をさらに見聞した上で、排水事業に影響のないような形をとっていきたいと思います。

**問** 国保条例の一部改正ということで、高齢者、特に前期高齢者への負担増、2割から3割です。1・5倍です。なぜこんなに高齢者が痛めつけられるのかという感じがします。これについての軽減策についてどのように思っているのか、お伺いいたします。

**答** 保険制度を将来にわたり持続可能にするため、医療費の伸びと国民負担の均衡を確保するために行ったもので、高齢者の現役並みの方が2割から3割に引き上がるわけですが、同時に出産給付金を30万円から35万円に引き上げるとか、平成20年から義務教育就学前が3割から2割に下がるとか、これらを含めた国の法律改正に伴うもので、市独自の軽減策は考えていません。

**問** 地方自治法の改正により、来年あたりから長の行う専決処分については、簡単にできなくなつたようなことと受けとめておりますが、執行部においては、今後の専決処分のあり方についてどのように考えているのか、お伺いいたします。

**答** 今回の改正につきましては、その要件の中の文で、「議会を招集する暇がないとき」という文面がありますが、この文面が「議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため、議会を招集する時間的な余裕がないことが明らかとなるとき」と改められたもので、専決処分の要件の明確化を図ったということが通知されています。従いまして、今後の専決処分に大きな影響があるというふうには考えていません。

#### 平成十八年 第二回臨時会の概要

##### ― 本会議一日目 (十月十一日) ―

議長の開会宣告、会期の決定の後、動議による副議長不信任案が賛成多数で可決。その後、北朝鮮による地下核実験に抗議する動議が提出され、賛成多数で可決しました。また、飲酒運転追放に関する動議が提出されましたが、直ちに日程に追加することは賛成少数で否決されました。鉾田市農業委員の推薦について、3人の推薦を全会一致で可決しました。

### 平成18年第3回銚田市議会定例会審議結果 (平成18年9月11日～9月21日)

- 議案第1号** 平成18年度銚田市一般会計補正予算(第4号)  
 本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億5,633万1千円を追加し、総額181億1,433万円に定めるものであります。歳入面では、前年度繰越金、市道整備事業費及び通園バス購入事業費に対する市債の増額や額の確定に伴う地方特例交付金の減額などです。歳出面では、クリーンセンター2号炉耐火物補修工事等施設の改修工事費、道路新設改良工事費、財政調整基金積立金の増額などです。その他、障害者自立支援法の改正に伴う組み替え措置や新たに創設する出産費資金貸付金制度に要する予算を計上するものであります。(全会一致可決)
- 議案第2号** 平成18年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
 本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億597万3千円を追加し、総額68億7,639万6千円に定めるものであります。歳入面では、前年度精算交付による療養給付費等交付金、支払準備基金繰入金の増額などです。歳出面では、やはり、前年度精算に伴う国庫支出金等返還金、一般会計への繰出金の増額などです。この他、10月から実施する保険財政共同安定化事業に対する経費を追加しております。(全会一致可決)
- 議案第3号** 平成18年度銚田市老人保健特別会計補正予算(第2号)  
 本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,220万2千円を追加し、総額45億2,467万円に定めるものであります。歳入面では、前年度精算交付による医療費交付金、医療費負担金や繰越金の増額であります。歳出面では、やはり、前年度精算に伴う国庫支出金等返還金、一般会計への繰出金の増額であります。(全会一致可決)
- 議案第4号** 平成18年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第2号)  
 本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,487万円を追加し、総額28億7,685万円に定めるものであります。歳入面では、前年度精算交付による支払基金交付金や繰越金の増額であります。歳出面では、やはり、前年度精算に伴う国庫支出金等返還金、一般会計への繰出金の増額などです。(全会一致可決)
- 議案第5号** 平成18年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)  
 本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,280万円を追加し、総額2億2,338万4千円に定めるものであります。歳入面では、農業集落排水事業県補助金、一般会計繰入金の増額などです。歳出面では、農業集落排水事業工事費や工事に伴う水道管等移転補償費の増額などです。(全会一致可決)
- 議案第6号** 平成18年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)  
 本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ745万円を追加し、総額2億2,322万1千円に定めるものであります。歳入面では、一般会計繰入金、下水道事業債の増額であります。歳出面では、水道管移設に伴う補償費の増額であります。(全会一致可決)
- 議案第7号** 平成18年度銚田市旭区域水道事業会計補正予算(第2号)  
 本案は、収益的支出において、消費税などの増減を補正するもので予算の総額については変更ありません。補正の内容につきましては、県水受水費を減額し、消費税修正申告による過年度損益修正損などを増額するものであります。(全会一致可決)
- 議案第8号** 平成18年度銚田市銚田区域水道事業会計補正予算(第2号)  
 本案は、収益的収入及び支出において、補正額745万5千円の増額で、予算の総額は5億6,405万7千円となります。また、資本的支出においては、補正額49万5千円の増額で、予算の総額は6億2,035万8千円となります。補正の内容につきましては、収益的収入において下水道事業に伴う工事費負担金、支出においては職員手当を増額するものであります。(全会一致可決)
- 議案第9号** 平成18年度銚田市大洋区域水道事業会計補正予算(第2号)  
 本案は、収益的収入及び支出において、補正額850万円の増額で、予算の総額は3億14万1千円となります。また、資本的支出においては、補正額14万5千円の増額で、予算の総額は1億1,760万2千円となります。補正の内容につきましては、収益的収入においては、農業集落排水事業及び県の工事に伴う受託工事費を増額、支出において工事費などを増額し、資本的支出においては、職員手当などを増額

- 議案第10号** するものであります。(全会一致可決)  
 銚田市固定資産評価審査委員会委員の選任について  
 本案は、固定資産評価審査委員会委員に欠員が生じたことに伴い、地方税法第423条第4項の規定により、補欠の委員として、去る8月8日付で飯島清司氏を選任したため、同条第5項の規定により、議会の承認を求めるものであります。(全会一致承認)
- 議案第11号** 銚田市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
 本案は、国民健康保険法の一部改正に伴い、出産育児一時金について所要の改正を行うものであります。(全会一致可決)
- 議案第12号** 銚田市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例  
 本案は、各商工の名称の変更及び連帯保証人について、所要の改正を行うものであります。(全会一致可決)
- 議案第13号** 銚田市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例  
 本案は、国民健康保険法等の改正に伴い、医療福祉費支給に関し所要の改正を行うものであります。(全会一致可決)
- 議案第14号** 銚田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例  
 本案は、人事院規則の改正に伴い、国家公務員の休息時間が廃止されたことから、本市職員についても同様の措置を講ずるため所要の改正を行うものであります。(全会一致可決)
- 議案第15号** 妨害予防請求調停事件の調停案について  
 本案は、国及び銚田町を相手方とする調停の申立てがあり、本事件に対し、水戸簡易裁判所調停委員会より調停案が提示されたので、この調停案の受諾について、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求めるものです。(全会一致可決)
- 報告第1号** 専決処分の承認について  
 平成18年度銚田市一般会計補正予算(第2号)  
 (全会一致承認)
- 報告第2号** 専決処分の承認について  
 平成18年度銚田市一般会計補正予算(第3号)  
 (全会一致承認)
- 報告第3号** 専決処分の承認について  
 銚田市消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例  
 (全会一致承認)
- 報告第4号** 専決処分の承認について  
 銚田市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例  
 (全会一致承認)
- 報告第5号** 専決処分の承認について  
 銚田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例  
 (全会一致承認)
- 報告第6号** 専決処分の承認について  
 銚田市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
 (全会一致承認)
- 認定第1号** 平成17年度銚田市一般会計歳入歳出決算認定について
- 認定第2号** 平成17年度銚田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第3号** 平成17年度銚田市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第4号** 平成17年度銚田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第5号** 平成17年度銚田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第6号** 平成17年度銚田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第7号** 平成17年度銚田市旭区域水道事業会計収入支出決算認定について
- 認定第8号** 平成17年度銚田市銚田区域水道事業会計収入支出決算認定について
- 認定第9号** 平成17年度銚田市大洋区域水道事業会計収入支出決算認定について  
 平成17年度銚田市一般会計歳入歳出決算認定について外8件については、各会計の平成17年度の決算について、地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定に基づき議会の認定に付するものであります。(全会一致認定)
- 議案第1号** 銚田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例  
 議会議員の定数を次の一般選挙から26名とするものです。(賛成多数可決)  
 閉会中の継続審査について  
 本案は、議会運営委員会、各常任委員会から継続審査申出があり議会の議決を求めるものです。(全会一致可決)

### 平成18年第2回銚田市議会臨時会審議結果 (平成18年10月11日)

- 銚田市農業委員会委員の推薦について**  
 本案は、農業委員会等に関する法律第12条第1項第2号の規定により、米川博史氏、小沼丈夫氏、飯岡昭一氏を推薦する。(全会一致可決)
- 北朝鮮地下核実験に対する抗議文提出について**  
 (賛成多数可決)

## 平成17年度 決算を認定

# 有効に使われたか 私たちの税金

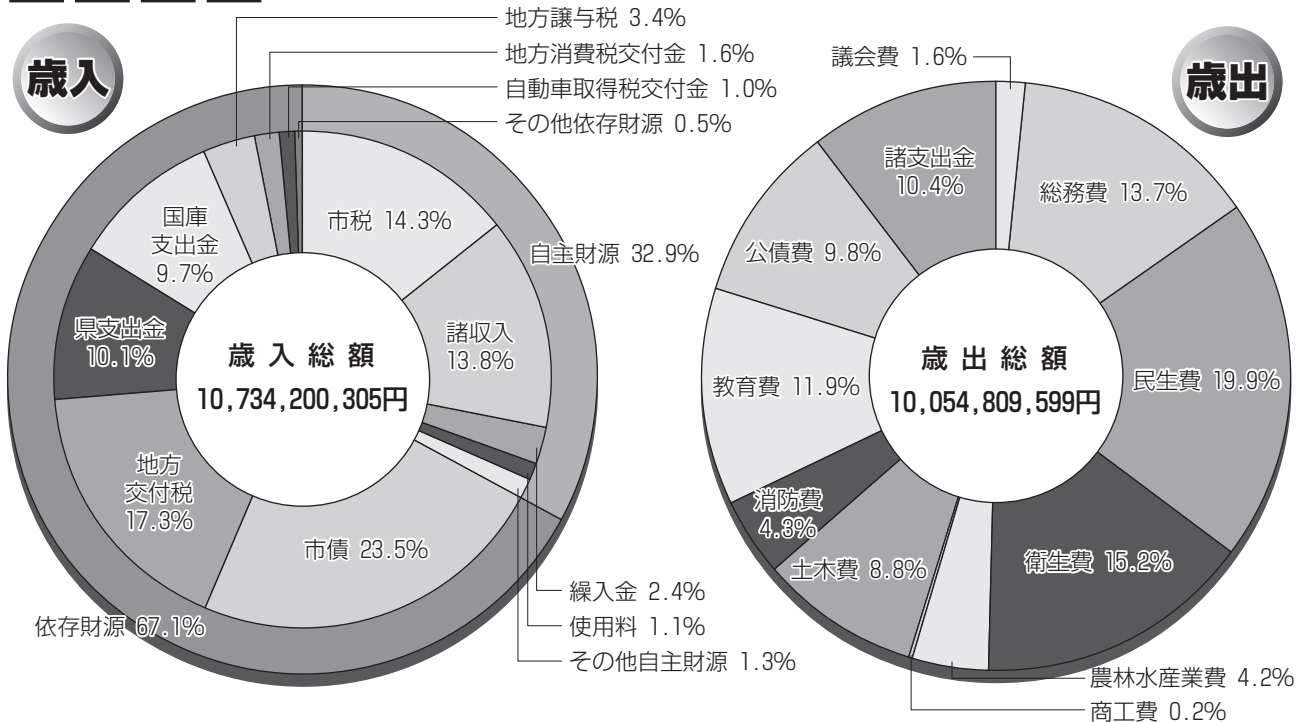
なお、17年度の執行期間は鉾田市となった平成17年10月11日から平成18年3月31日までの6か月間です。

**一般会計 特別会計 178億229万円・事業会計 10億8,230万円を審査**

9月定例会では、一般会計、特別会計、そして水道事業会計が有効に使われたか審査する決算認定が行われました。

鬼沢市長より決算の概要説明があり、その後 大貫監査委員から決算審査意見がのべられ、質疑、討論を経て、平成17年度各会計歳入歳出決算を認定しました。

### 一般会計



### 国保特別会計

歳入 (単位：円)

款別	収入済額
1. 国民健康保険税	1,091,783,248
2. 使用料及び手数料	638,150
3. 国庫支出金	1,631,448,647
4. 療養給付費交付金	393,242,145
5. 県支出金	271,122,882
6. 共同事業交付金	125,265,462
7. 財産収入	18,373
8. 線入金	161,161,446
9. 諸収入	97,994,564
歳入合計	3,772,674,917

歳出 (単位：円)

款別	支出済額
1. 総務費	94,821,646
2. 保険給付費	2,376,349,504
3. 老人保健拠出金	569,050,225
4. 介護納付金	271,338,000
5. 共同事業拠出金	114,601,103
6. 保健事業費	3,658,995
7. 基金積立金	18,310
8. 諸支出金	130,607,317
9. 予備費	0
歳出合計	3,560,445,100

平成17年度 特別会計決算状況（国保会計を除く）

(単位：円)

区分	歳入合計	歳出合計	差引残高	
老人保健会	2,602,910,587	2,553,204,893	49,705,694	
介護保険会	1,555,676,055	1,523,684,921	31,991,134	
農業集落排水事業会	106,830,858	106,823,772	7,086	
公共下水道事業会	19,747,000	3,329,668	16,417,332	
旭地区水道会	収益的	254,111,131	180,948,372	73,162,759
	資本的	42,832,750	68,200,695	※ △25,367,945
※不足する額は、過年度分損益勘定留保資金25,367,945円で補てんした。				
銚田地区水道会	収益的	346,596,635	287,338,363	59,258,272
	資本的	219,412,000	286,397,336	※ △66,985,336
※不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,501,811円及び過年度損益勘定留保資金62,483,525円で補てんした。				
大洋地区水道会	収益的	190,488,033	148,232,918	42,255,115
	資本的	90,685,000	111,184,390	※ △20,499,390
※不足する額は、過年度損益勘定留保資金20,499,390円で補てんした。				

【基金】

(単位：円)

財政調整基金	463,219,873
減債基金	163,095,916
ふるさと創生事業基金	697,521,756
地域振興基金	204,860,156
スカイタウン団地施設基金	28,664,433
地域福祉基金	7,611,700
生涯学習施設基金	4,641,225
公共施設整備基金	67,848,744
国民健康保険支払準備基金	130,438,083
介護給付費準備基金	17,560,612
地域づくり基金	1,036,000,000
土地開発基金	247,965,996
高額療養費資金貸付基金	11,000,338
石上福祉資金貸付基金	4,517,086
合計	3,084,945,918

※基金は条例によって目的以外に支出はできません。

審査意見

(要旨)



大貫監査委員

平成17年度一般会計、特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計について、銚田市が設置された昨年10月11日から今年3月31日までの決算審査です。審査の実施は8月7日から10日までの4日間、水道会計が7月26日の計5日間実施しました。審査の方法は、歳入歳出決算書、政令で定める書類について、関係諸帳簿、証書類と計数照合を行い、関係職員に説明を求めるとともに、例月検査及び定期監査の状況をもとに審査を実施しました。

一般会計、特別会計については、旧町村予算執行残額に市制施行に伴う経費や合併関連経費を盛り込んだ予算となっております。確定しているものについては補正措置を行っております。その中で市税収入については、合併前の旧町村を合わせた前年度と比較しますと、収納率は若干伸びておりますが、国保税につきましては低い収納率となっております。今後、関係各部課とも連携を図り、収納率向上に努めていただくことを要望いたします。次に、歳出ですが、社会福祉の充実、健康増進施設の利用促進、農林水産業の振興等を中心に予算執行がされました。

水道事業会計につきましては、銚田市水道事業のもと3地区でそれぞれ水道事業を展開しておりますが、今後も連携して経営の健全化、事務の簡素化を図っていくことを要望いたします。

全体を通じて、全会計とも関係書類等を慎重に審査しました結果、計数に間違いはなく、会計経理は適正であることが認められました。合併年度ということで財政調整が難しい状況のもと、限られた予算の中、事務事業の執行に努められました。引き続き銚田市の将来像である「いのちとくらしの先進都市」の実現に向け、更なる市勢発展に期待するものです。以上、ここに審査報告を申し上げます。

## 23議員が一般質問

議席	議員名	質問事項	点
1	倉川 陽 好	(1)これからの選挙について (2)道路計画について (3)メロン日本一今後の課題と対応について	3点 3点 7点
2	市 毛 勇	(1)がん対策基本法について (2)環境基本条例について (3)農業改革について	3点 1点 1点
3	中 山 尚 治	(1)大竹海岸銚田海水浴場の売店問題について (2)入札制度の改善について (3)市道54号線と市道4号線が交差する銚田市鳥栖1941・皆藤 鮮魚店角の安全対策について	5点 10点 2点
4	菅 谷 幸 雄	(1)学童保育導入について (2)民具資料の活用について	1点 1点
5	須 澤 正 孝	(1)米軍機訓練百里移転について (2)土地改良について (3)市町村合併主要事業について (4)市職員採用について	4点 2点 1点 1点
6	飯塚幸右衛門	(1)災害について	2点
7	出 沼 丈 夫	(1)福祉事務所2Fの会議室に簡易昇降機の設定について (2)独居老人家屋に住宅用火災警報器設置について	2点 1点
8	勢 司 正 躬	(1)H18年夏を振り返って (2)農地について (3)環境問題について	4点 3点 1点
9	水 上 美 智 子	(1)食育について (2)学校給食について (3)環境教育の一環について	2点 2点 2点
10	野 口 忠 篤	(1)歴史文化国宝唐招提寺扉絵が発見について (2)国民文化祭いばらき2008について	3点 1点
11	入 江 晃	(1)銚田市まちづくり計画における農業振興について	2点
12	下河邊 一 良	(1)市内小・中学校の不登校児童・生徒の現状について	2点
13	山 崎 進	(1)クリーンセンター関係について (2)広域消防関係について (3)防災関係について (4)広報ほこたについて	5点 2点 2点 2点
14	和 田 茂	(1)財政基盤確立について	3点
15	青 木 富 美 男	(1)防災無線の時報の件について (2)道路の排水について (3)木の枝はらいについて (4)市議会議員、農業委員の税金滞納について (5)税金が5年で時効になる問題について (6)旭健康増進館の件について	1点 1点 1点 1点 1点 4点
16	小 川 一 彦	(1)入札制度のあり方について (2)消防団編成のその後の進捗について	4点 1点
17	井 川 茂 樹	(1)普通交付税について (2)学校給食について	2点 8点
18	石 津 武 吉	(1)外国人実習生の雇用について (2)民生委員の政治活動について (3)高齢者への負担増による悲鳴について	3点 1点 2点
19	方波見 和 彦	(1)職員について (2)人材育成について (3)喫煙スペースについて (4)燃料費について	3点 1点 1点 2点
20	高 野 衛	(1)品目横断的経営安定策について (2)銚田西部工業団地第2期開発買収農地の雑草対策について (3)住宅、店舗リフォーム助成制度の実施について (4)排水対策について	3点 1点 1点 2点
21	友 部 政 徳	(1)畑田(玄生)地区への産廃搬入について (2)(株)コイクニエネルギーサービスに関して	4点 3点
22	米 川 宗 司	(1)市職員の派遣について (2)来年の成人式と敬老会について	1点 2点
23	菅 谷 達 男	(1)中学校の部活動について	2点

Q&amp;A

## 市政を問う

## Q メロン日本一今後の課題と対応は

## A 地産地消の拡大、PR活動の推進



倉川陽好 議員

**Q** 銚田市の農業生産高は全国の市町村では2番目で、1位との差は300億円近くあると聞いております。しかし、メロン単品では熊本県を抜いて1位になったようです。この成果は旭農協・かしまなだ農協や生産者の皆様の努力、頑張りがあったということではないかと思えます。それを評価して、農業等生産者の皆様に感謝状か

表彰状を交付したり、また、メロン日本一を積極的にPRしていく考え、連作障害に対する指導はどのようにしていくのか、お伺いいたします。

**A** 産業経済部長  
メロンの生産高は茨城県が日本一であり、市町村単位では銚田市が

日本一であります。農家への対応につきましては、生産者大会時に感謝状や市長賞等を付与し、生産意欲向上の一環として激励をしてきました。メロン栽培に関する支援としては、つる割れ病対策の一環として生産緊急対策事業を行っております。看板設置やシールなど、メロン日本一をキャッチフレーズに各種広報、PR活動を推進して、地産地消の拡大に努めてまいります。



## Q がん検診受診率の向上にどう取り組むのか

## A 一人ひとりの意識付けが大事



市毛 勇 議員

**Q** がん対策基本法が国会で成立したことに伴いまして、今後この基本法を軸に、銚田

市はがん検診の質と受診率の向上にどう取り組むのか、お伺いいたします。

**A** 健康福祉部長  
がんをより効果的・効率的に早期発見し、精度の高い検診を実施するため、最新の知見に基づくがん検診の検討を関係機関と行い、検診の質

を向上させるとともに、検診時の待ち時間の短縮、ホームページ、広報等によりがん検診の日程や生活習慣病予防教育やがん予防の必要性を周知することにより、がんに対する予防の知識を、一人ひとりに意識をもってもらいまして、受診率の向上に努めてまいりたいと考えております。



# Q 無許可営業がなぜ今日まで許されていたのか

## A 市に許認可権限がないため



中山 尚治 議員

**Q** 大竹海岸銚田海水浴場は銚田市最大の観光地と言えるところであり、この場所に占

用許可を受けていない不法占拠状態で無許可営業を行っている売店が目につきます。その売店は食品を中心に販売を行っており、不法占拠に対する対処はもとより、食品衛生法にも抵触する行為であり、一刻も早い対応が必要で、県・県警・市な

ど各行政機関は法令遵守を徹底すること、信頼回復に努力しなければなりません。この売店問題について、占用許可を受けていない無許可営業がなぜ今日まで許されていたのか、お伺いいたします。

## A

産業経済部長

占用許可を受けていないものが13件あり、これは市に直接の許認可権限がないため、また一般的な祭事等における露天商の認識をしていたきらいがあったため、今日までの経過と認識をしております。今後の対応と

しましては、保健所・土木事務所・関係機関と協議しながら、次年度の開設に合わせ対処していく考えであります。



# Q 学童保育導入の現況と今後の考え方について

## A 市全体にバランスよく拡充



菅谷 幸雄 議員

**Q** 学童保育について、少子化を迎え、今後もさらなる減少傾向にあります。共働き世

帯数は増加傾向にあり、国・県においては子育てがしやすい環境づくりや放課後の居場所づくり等々の事業を推進しているように聞いておりますが、これらの事業について銚田市の現況、また今後の考えをお伺いいたします。

## A

健康福祉部長

学童保育の現況は、保育園を事業主体とした補助事業2カ所（児童福祉施設併設型民間児童館事業・放課後健全育成事業）、自主事業3カ所の合わせて5カ所で行われています。今後は、保育園での取

り組みを、より良く育成していくと共に、国・県の「放課後子どもプラン」の考え方に則し、空き教室を活用した「学童保育」に心がけ、できる限り身近で利便性があり、対象者を広く、市全体にバランスよく拡充していくことが肝要であると考えております。





## Q 県道下太田銚田線関係の進捗状況は

## A 本年度は市道8号線交差点の家屋移転及び用地取得を計画



須澤正孝 議員

**Q** 旭地区の県道下太田銚田線整備事業とリンクしておりますが、常磐から東野地区の

交差点、クロスするところの地域間連絡道路整備事業、銚田地内から国道51号まで抜ける一部バイパスありの整備事業を新市建設計画に取り入れていただきまして、その進捗状況はどうなっているか、お伺いいたします。

**A** 建設部長

県道下太田線の東野地区の本年度事業は、市道8号線の交差点の家屋移転及び用地取得を計画しており、次年度は東野付近の交差点改良を計画しております。この延長については約120m前後になると、銚田土木

事務所から伺っております。舟木―国道51号西勝下間につきましては、旭地内を平成15年から補助事業で整備を進めており、平成17年度末において約400mの整備が完了しております。銚田地内につきましては合併支援事業後期分の事業として、

平成21年以降の事業として予定しております。



## Q 防災無線の個別受信機について

## A 補助事業も含めて検討したい



飯塚幸右衛門 議員

**Q** 土砂災害や、がけ崩れのある地域には、当然無線はあると思っております。夜など

に雨が降って雨戸を閉めてしまう家が多くなり、無線放送が聞きにくくなると思います。そこで、個人の家に防災無線の個別受信機をつける考えはあるのかどうか、もしつける気がなかった場合には、例えばだれがこの個別受信機にかわるような

**A** ことをするのか、お伺いいたします。

総務部長  
防災無線の個別受信機は、旭地区については原子力の関係ですべてつけています。銚田地区については、今回の訓練移転の関係もあり、大和田学区につきましては

今年度個別受信機をつける予定であります。今後その残り全体をどうするかということについては、財政状況も含め何らかの補助事業も含めて検討していきたいと考えています。

また、個別受信機がない場合の対応ですけれども、各地区については消防団、高齢者に対しては民生委員とか、いろんな人的な配慮でその辺の内容を伝えていきたいと考えています。

## Q 福祉事務所簡易昇降機の設置は

## A 現在、設置の考えはありません



出沼 丈夫 議員

**Q** 福祉事務所の2階は、会議や説明会など数多く利用するためにつくられた部屋と思

われますが、今日までにどのくらいの利用率があり、どのような人たちが利用しているのか。また、体の不自由な人が参加するような場合に、簡易昇降機あるいはスロープ、トイレの設置は設計段階で必要ではなかったのか、お伺いいたします。

**A** 総務部長  
利用状況については、昨年の10月から今年の8月までで72%の利用状況です。利用者は主に行政・教育関係の組織等、団体等が利用しています。1階を福祉事務所として利用する計画でありましたので、体の不自由な方々への配慮も考慮しましたバリアフリーや障害者用のトイレを整備しましたが、2階の会議室はスペース確保に主眼を置いて整備を凶つたもので、体の不自由な方々の参加が見込まれる場合には、他の会場を設定し対応しておりますので、現状では福祉事務所2階への簡易昇降機等の設置については、考えていません。



## Q 受益者負担による公設処理場を整備する考えは

## A 公設処理場設置の考えはありません



勢 司 正 躬 議員

**Q** 本市は、国内でも有数の畜産業が盛んな地域であり、経済寄与が大きいものと受け

止めております。これらに関する種々の問題を過去に何度となく危惧してまいりました。ここ1・2年大規模企業による設備改善計画が実施され、大幅な環境改善がされたが、業界全体からみればまだ満足できません。そこで安全安心な「いのち

と「くらし」の先進都市銚田を構築するためにも、公設処理場をつくり受益者負担の利用料金徴収を考えるべきかと思いますが、お伺いいたします。

**A** 産業経済部長  
畜産農家と耕種農家による耕畜連携による農業の推進は、当市に

において重要な課題であり、それらを実現するため、(仮称)地域資源活用センターを設置するための準備を本年度より着手したところで、公設による処理施設は、処理方法、処理能力、設置場所による地域住民の理解など、多くの問題があり実現は非常に難しいと考えております。今後も家畜ふん尿以外の有機資源の活用を推進し、資源循環型農業の確立に向けて、(仮称)地域資源活用センターの設置を検討してまいります。

# Q 牛乳パックのリサイクルについて

## A 学校の自主性にまかせる



水上美智子 議員

**Q** 給食に出された牛乳パックはどのように処分されているのか。捨てればごみ、回収

してリサイクルすれば資源となります。環境教育の一環として、給食に出された牛乳パックを子どもたちが洗い、干したものを回収するリサイクル運動をすすめ、トイレレットペーパーとして、各学校に配布し、循環型社会づくりを目指して行け

**A** ばと考えますが、お問い合わせいたします。  
**A** 教育部長  
牛乳パックの処分方法は、基本的には燃やせるごみとして出していますが、旭地区の小学校4校につきましては、教職員の方が生活協同組合からいろいろな生活物資

を共同購入しておりますので、生協で牛乳パックのリサイクルも対応しているということ、生協に引き取ってもらいリサイクルをしています。今後の取り組みについては、リサイクル業者に確認をしたところ、パックのリサイクルは可能だということなのですが、旭地区では生協が回収をしていますが、それ以外の学校で実施する場合に、回収の問題が出てきてまい

ます。パックを回収時に水で洗うので、上水道を使用するので、水資源・高熱水費の関係、そういうものを総合的に勘案しませんとどちらが省資源につながるか、総合的に検討してまいりたいと思います。



# Q 梶山古墳の出土品・石棺・人骨は

## A 出土品は大洋公民館、石棺は埋め戻し、人骨は埋葬



野口忠篤 議員

**Q** 今年の夏、7月29日から9月10日までかすみがうら市の郷土資料館において、平成

18年度第29回特別展、地方王者の武装、古墳時代の武器、武具の展示があり、この中には梶山古墳群から出土しました獅噛環頭太刀、円頭太刀が展示されておりました。これらの梶山古墳から出土した太刀や玉類の保存保管はどのようなになってい

るのか、お問い合わせいたします。  
**A** 教育部長  
保存保管については、獅噛環頭太刀・円頭太刀は大洋公民館に常設の展示室を設け、展示ケースの中におさめてありますので、いつでも見ることができるようになってお

ります。石棺は、調査終了後に雨水が入るのを防ぐためにビニールシートをかぶせまして、埋め戻しをしております。現場には説明のため看板が設置してあります。人骨は、近所のお寺の住職の方に供養してもらいまして、円墳の頂上部に埋葬をさせていただきます。

# Q まちづくり計画における農業振興

## A 現在作成中の銚田市総合計画に位置づけ



入江 晃 議員

**Q** 銚田市まちづくり計画の中で、品種改良の推進や消費者ニーズに対応した農作物の

**A** 開発など、付加価値を高める研究を国、県や民間企業と連携して推進しますと、大変すばらしい夢と希望にあふれた計画を示していますが、具体的な活動状況と計画をお伺いいたします。  
産業経済部長  
新市まちづくり

計画の中で、合併後の道筋を示したものであり、今後は作成中の銚田市総合計画により位置づけられます。その後の実施計画の中で十分検討していきたいと考えております。現時点では、農業振興に関する諸問題の調査研究対策のため、各J・A・県・

農業改良普及センター等の関係機関に参加をいただきまして、市農業振興対策協議会を設立いたしました。早速、トマトエソ病緊急対策をテーマに会議を開きまして、チラシの作成や回覧を実施したところです。また、引き続きJ・Aと農業関係団

体からの補助要望調査や農家の抱える問題把握などの調査を実施してまいりたいと考えております。

銚田市農業の付加価値を高めるための推進方法は、



# Q 不登校児童生徒の今後の対策について

## A 一人ひとりを気遣って



下河邊一良 議員

**Q** 不登校の減少傾向と反比例するようになり、保健室登校が増えているというようにこと

を言われておりますが、現在の状況を踏まえて、ゼロというわけにはいかないでしょうけれども、小中学校の今後の児童生徒の不登校・保健室登校の解消にどのような対策をしていくのか、お伺いいたします。

**A** 教育長  
これからの対応は、少子化という中で、先生方は丸ごと全体というよりも一人ひとりを強調し、気遣って子どもたちを指導しています。学校へ来ても子どもたちが先生に声をかけられる、自分の居場所がある、自

分は大事にされていると、子ども自身が実感を持てるように、学校では進めていく必要があると思いますし、実際にそのようなことで先生方は努力をしています。



## Q ダイオキシシンの測定値は

## A すべて基準値内



山崎 進 議員

**Q** クリーンセンターの平成18年度の可燃ごみ焼却量、搬入台数、最近のダイオキシシン

測定値、土壌検査及び排煙濃度、旧焼却炉の撤去時期についてお伺いいたします。

### A 市民部長

平成18年4月から8月までのクリーンセンターのごみ焼却量の月平均は671・78tです。搬入台数は委託業者

が月平均で649台、一般が3103台です。ダイオキシシンの測定結果は敷地内の2カ所で採取し、焼却灰等基準値が3ナノグラムTEQパーグラムのところ、0・13、0・063です。土壌分析基準値が1000ピコグラムTEQパーグラムのと

ころ、0・082と4・6です。排煙濃度が基準値5ナノグラムTEQパー立方メートルのところ、1号炉0・024、2号炉0・016ナノグラムTEQパー立方メートルです。焼却炉の撤去時期は、現在解体整備の設計について委託している状況で、設計費が積算されれば、それに基いて工事に入りたいと考えています。



## Q 百里飛行場の民間活用について

## A 優良企業の誘致に努力したい



和田 茂 議員

**Q** 県では、2009年頃に百里飛行場民間共用化空港が開港の予定ということですが、

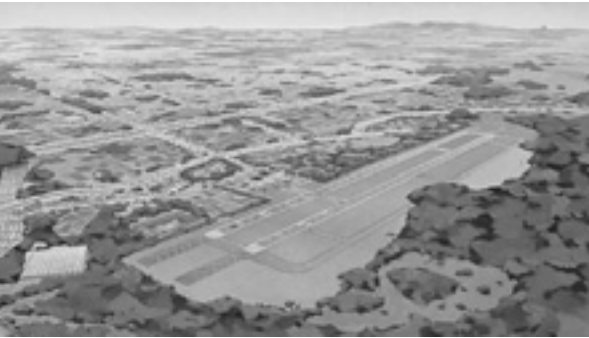
開港されたならば、近隣の地域振興など銚田市として空港に関した企業が進出されると思いますが、企業誘致について、お伺いいたします。

### A 総務部長

物流や交流などによる地場産業への経済効果を期待していること

ろです。そのためにも工業団地や交通アクセスの整備を図り、企業誘致を推進していく必要があると考えております。今後早急に工業団地の用地取得を行いながら、茨城県開発公社や各方面と連携をいたしまして、優良企業の誘致に努めてまいり

たいと考えてございます。



Q 滞納の時効防止対策はしているのか

A 適正な時効中断の措置を選択



青木富美男 議員

Q 税金が5年で時効になる問題について、時効防止対策はしているのか、お伺いいた

A 市民部長

時効の完成を阻止する制度があり、民法第147条に基づき請求、催告書の送付であります。催告の翌日から起算して6カ月以内に差し押さえまたは交付要求の手続きが必要となります。次に

差し押さえであります、差し押さえされた債権は、滞納処分終了または解除の時まで時効を中断します。また、債務の承認でございますが、市税滞納金債務承認及び納税誓約書を納税相談を行って債務承認とあわせて納付の計画書を提出させます。

このことにより5年間時効が延長します。以上のような時効中断の措置を滞納者の生活実態、資力、財産を調査してから、より適正な時効中断の措置を選択しており、滞納処分を行っております。

# 時効中断



Q 消防団再編成の進捗状況について

A 今後を見据えて取り組みを



小川一彦 議員

Q 消防団の編成について、前回も定例会で質問いたしました

A 総務部長

消防団の編成について、前回も定例会で質問いたしました。消防活動はどうか、現状の不安があるか、分団統合の必要性、その相手

の結果はどうであったか、またその後の進捗状況についてお伺いいたします。問は団員の確保、現状と将来どうなるか、平日の消防活動はどうか、現状の不安があるか、分団統合の必要性、その相手

しているのは旭1分団・銚田4分団・大洋4分団という状況です。

このような状況を踏まえ分団統合の必要性については、20分団、24%が必要を感じています。今後は必要性を感じている分団に対する協議対象の調整に向けた働きかけをして、またそれ以外の分団に対しても、今後を見据えまして取り組みをしてまいりたいと考えてございます。

# 外国人実習生

## Q 普通交付税について

## A 財源確保に努めたい



井川茂樹 議員

**Q** 合併支援制度の算定の特例によりますと、合併後及びこれに続く10

年間には合併算定がえて交付されると認識しておりますが、平成18年度の銚田市の交付税はどのぐらい交付されたのか。また、旧町村が存続したものとして算定した額及び銚田市として算定した額、また交付税の削減が間違いなく行われるとすれば今

後どのような対策を講じていくのかお伺いいたします。  
**A** 総務部長  
平成18年度の普通交付税の算定は、合併の特例といたしまして、旧町村が存続したとして算定しております。調整額を含めまして54億4

292万2000円でございます。また、銚田市一本として算定をした場合は、44億4496万5000円となっております。この対策については、定員適正化計画による職員の削減や税の徴収率の向上、使用料・手数料の見直しを含めて財源確保に努めたいと考えてございます。

## Q 外国人実習生、性的被害について

## A 新聞報道の範囲で承知



石津武吉 議員

**Q** 茨城県におきまして、昨年末から8月16日までに9件、28人が違法雇用を訴えまし

た。1月には中国人実習生9人が労働基準監督署に居座る騒動があったというところであります。本年7月には、東京入国管理事務所にて中国人女性の実習生が受け入れ先の理事長から性暴力を受けたとして逃げ込んだということがございます。外国

人研修生、実習生の市内での数の把握、違法行為による労働基準監督署への駆け込み等の実情はどうなっているか、また中国人女性などの性的被害について、東京入管に駆け込んだ等の実情について、承知しているかお伺いいたします。

# 合併支援制度

**A** 産業経済部長  
市内の外国人実習生の数は3月1日現在で490人、研修生で960人です。労働基準局への駆け込み事情については、問い合わせをしましたが、個別事案は公開できないとのことでした。中国人女性への性的被害については、あくまでも新聞報道の範囲で承知しています。



米価暴落

## Q 総合窓口案内の設置の考えは

## A 今後の状況で必要かどうかを判断



方波見和彦 議員

**Q** 一般の市民の方にとつては、市役所に来てはいる私も各所に配置された部署を探すの

に苦労しますが、戸惑いはなお一層だと思えます。総合案内窓口を設置してはどうかと思いますが、設置の考えがあるのか、また、昔案内窓口のようなものがあつたと聞いておりますが、高齢化が進んだ現在においてこそ必要とされるのではないで

**A** しょうか、お伺いいたします。総務部長 行政の効率性からも、今後の定員管理上からも総合窓口案内に職員を専任で配置することについては非常に難しいと考えてございます。1階の窓口が連携を図りま

して、各課で対応すべきと考えてございます。平成3年に窓口1人専任職員を配置しましたが、1日に1件あるかというような窓口業務でしたので、非常に効率も悪いし、実際に窓口に行つて話した方が早いというようないいところがありましたので、取りやめた状況があります。ただ、状況が変わつた中で必要かどうかというのは判断してまいります。



## Q 品目横断的経営安定策と米価暴落

## A 経営力、競争力を強化し米価暴落にはならない



高野 衛 議員

**Q** 2007年度からの新たな対策は、米・麦・大豆・てん菜・でん粉原料馬鈴薯の5品目に

対して、農家に補助金を一律に実施してきた内容を変更し、一定規模以上の大規模農家に支援をするとしています。この加入条件は、個別経営で4ヘクタール以上の認定農家や、地域一帯で手がける集団営農組織20ヘクタールで生産する農家とし、

これらの条件に合う農家に限り、5品目の生産者には、不作や価格暴落で収入に大きな変動が生じた際には収入額の9割を補てんする対策であります。このような大規模型の対策に参加できない農家が多数となるのではないかと考えます。助成金

### A

#### 産業経済部長

地域農業を担う

なしでは経営は成り立たず、麦や大豆の転作をやるめる農家がふえてくると思います。そうなれば米の生産調整機能の維持が困難となり、さらなる米価格の暴落の引き金になりかねないと思えますが、お伺いいたします。

員となる集落営農を確立していくことが緊急の課題です。品目横断的経営安定対策は諸外国との生産条件の格差がある複数の作物を組み合わせた、土地利用型農業の米・麦・大豆・てん菜・でん粉原料馬鈴薯を対象に経営力、競争力を強化するため、米価暴落や農家集落の排除になるものではありません。これまでの全農家を一律とした施策では経営安定対策に限界があるためのものと思えます。





**Q** 旧旭村では敬老会、旧大洋村では健康長寿祭、この長い間の歴史と伝統を継続してきた行事が銚田市になっ



米川 宗司 議員

### A 平成18年度で廃止する考え

て廃止になるだろうという多大な声が旭地区、大洋地区で聞かれます。このことに対して大先輩方は、年に一度の楽しみがなくなってしまうという寂しい意見が多く出ておられます。この敬老会、健康長寿祭について、毎年開催していくのかどうか、明確なお答えをお伺い

**A** 健康福祉部長  
たします。  
平成16年までは旧3町村とも敬老会事業を実施しており、平成17年度から銚田地区では、高齢社会・核家族化等の増加を踏まえ、必要性を考慮し、福祉関連経費の大幅な見直しをして、その一環で旧銚田町におい

ては敬老会事業を廃止したところですが、銚田市としては、高齢者等が安心して暮らせる環境等の整備を推進するため、本年度をもって当事業を終了したいと考えております。なお、高齢者ができる限り住み慣れた地域で生きがいのある生活ができるよう、地域包括支援センターを設置しましたので、今後施設の充実を図っていききたいと考えております。

### Q 地下水汚染の心配はないか

### A 基準値以下で心配ない



友部 政徳 議員

**Q** 烟田（玄生）地区に持ち込まれた改良土等については今ま

でも何回かサンプルを採取し、土質、水質検査を行ってきました。今まで地元で検査した結果から見て、早急に環境への汚染はないと思いますが、将来に向けては不安があります。今回地元の要請で県により現場に持ち込

**A** 市民部長  
まれた廃棄物の検査が行われましたが、その結果について、地下水及び周辺への環境対策の心配はないか、お伺いいたします。  
るいは周辺への環境汚染

でございますが、土壌のダイオキシン類濃度につきましても、18年6月14日に地区住民の皆様立会いのもとに実施いたしました。分析結果につきましては、先日茨城県からコピイをお預かりして友部議員にお渡ししたとおり、いずれも基準値以下で心配ないということでございます。



## Q 部活動振興のための支援策充実の考えについて

## A 現状程度が望ましい



菅谷達男 議員

**Q** 部活動は、生徒が学級や学年を離れて自発的に部を組織し活動を展開することにより、生徒の自主性・協同性・責任感・連帯感など豊かな人間性を育成するとともに、仲間や教師との密接な触れ合いの場として大きな意義を有するものであると思います。

そこで、部活動の振興に向けて支援策の充実を検討してみたらどうか、お伺いいたします。

**A**

教育部長

当然あくまでも義務教育の一環として行われているものでございまして、部活動に参加している割合が4中学校全

生徒数1439人に対し1372人の95・3%が活動を行っており、すけれども、特に運動部に対しては、どうしても疲労という問題がでてまいります。したがって、学業との両立をさせる上で、家庭学習に大きな影響を与え過ぎてもこれは

また別な問題がでてまいります。特に保護者等との話し合いを通じまして、十分検討しなければどの程度でいいかという難しい問題がありますので、加入者の割合から見ますと、現状程度でよいのではないかとこのように考えております。



## 北朝鮮核実験中止を求める決議

茨城県銚田市議会は、今回の北朝鮮の核実験において、緊迫した危機的状態に直面させる極めて憂慮すべき事態として、核実験の即時中止を求め強く抗議する。

北朝鮮は、ミサイル発射や核実験という威嚇で自らの要求を通そうとする瀬戸際外交によって、国際社会での信用をますます失う結果となっています。北朝鮮が自国の安全保障を確実にし、国際社会の責任ある一員として各国と友好関係を築き、深刻な経済危機を克服するため、6カ国協議に早期に復帰することを求めます。

核廃絶を求める国際的な世論は大きく高揚しており、銚田市議会としても、今回の核実験即時中止を強く求めるものであります。

以上決議する。

平成18年10月11日

茨城県銚田市議会

※ なお、決議文を内閣総理大臣宛提出しました。

# 常任委員会の活動状況

## 産業経済建設常任委員会

委員長 井川 茂 樹

平成18年10月30日、神奈川県三浦市役所を視察。三浦市は地域再生法を活用した先進地でありその地域再生計画について研修を行いました。なかでも排水・加工残渣等の産業廃棄物を集約的に処理するバイオマスタウン構想についての取組みについて調査しました。

三浦市が進める地域再生計画は、地域の「弱み」を解決し、「強み」の部分はさらに伸ばしていくことで、最終的に1次産業と、2次産業、3次産業の組み合わせによって6次経済を構築しようというもの。交付金という「お金」ではなく、「お金を調達するための制度」という国の支援を活用したことが特徴でした。



## 文教福祉常任委員会

委員長 江沼 久 男

平成18年11月10日、群馬県太田市役所を視察。太田市は、「市民の目線」を原点にマーケティング

グによる都市経営を進め、英語教育特区や土日開庁、教育委員会制度改革など斬新な取り組みが全国から注目を集めており、そうした取組み等について、研修を行いました。

地方分権の目玉策である国の構造改革特区構想において、太田市の英語教育特区構想は第1号として認定を受けるなど、その他の取り組みにおいても、全国から高い注目と評価を受けております。



## 総務企画常任委員会

委員長 坂爪 衛

平成18年11月16日、栃木県大田原市の「那須野が原ハーモニーホール」を視察。コンサートを開催したり、発表会や講演会などさまざまなことに利用ができ、クラシック音楽が美しく響く空間の大ホール



## 市民生活常任委員会

委員長 米川 宗 司

1275席（身障者席4席、親子席4席含む）、演劇、小規模な室内オペラ上演のためのオーケストラピット、音楽コンサートでの利用のための小ホール399席（身障者席2席、親子席2席含む）、自由に客席を配置できる交流ホール、開放感あふれる明るいアートスペースのギャラリー等の施設構成となっております。

平成18年11月21日、ごみゼロ政策の先進地である栃木県矢板市の「住民・事業者・行政によるごみ排出抑制等推進事業の取り組みについて」研修。矢板市は、平成4年から継続的にごみ減量化・資源化に取組み、様々な排出抑制策を工夫して展開。資源化推進、自家処理等推進、ごみ減量・資源化啓発の3事業を柱に「Zero」認定、過剰包装自粛・リサイクル協力店認定、エコ・オフィス認定等、家庭、オフィス、商店と三つの局面を市政とつなげて協力を強化しています。



# 請願陳情

9月定例会に提出された請願・陳情は、意見書1件、要請書1件、要望書1件です。

◆意見書：出資法の上限金利の引下げを求める意見書

- ・提出者 茨城県弁護士会 会長 水口二良
- ・要旨

利息制限法に定める上限金利を超え、出資法に定める上限金利には満たないいわゆるグレーゾーン金利を撤廃し、少なくとも利息制限法の制限金利まで引下げを、地方自治体において決議採択を要望するものです。

- ・その写しを全議員に配付しました。

◆要請書：反核平和に関する要請書

- ・提出者 茨城県平和友好祭実行委員会 実行委員長 大部 司
- ・要旨

平和行政を具体的に推進するため、非核平和都市宣言を早急に決議すること。被爆国として世界のすべての核実験に反対の意思を表明すること。核に対する情報公開と地域住民の安全確保、災害対策強化等を要請するものです。

- ・その写しを全議員に配付しました。

◆要望書：障害者自立支援事業・地域生活支援事業の聴覚障害者コミュニケーション支援事業における利用者負担分の減免措置について

- ・提出者 社団法人茨城県聴覚障害者協会 会長 末森明夫  
茨城県中途失聴難聴者協会 会長 斎藤正昭
- ・要旨

障害者自立支援法が制定され、聴覚障害者コミュニケーション支援事業においては、個人負担(10%)の減免(無料化)をはかるべきことを要望するものです。

- ・その写しを全議員に配付しました。

## 議会推薦農業委員

3名の方を推薦いたしました。

- 米川博史氏 55歳 銚田市沢尻593番地
- 小沼丈夫氏 69歳 銚田市半原636番地
- 飯岡昭一氏 49歳 銚田市上幡木1656番地9

## 議会広報委員会研修を実施しました。

10月12日埼玉県にある(株)会議録センターにおいて、会議録調製、議会だよりの編集作業および会議録の検索システムの視察研修を行いました。議会だより編集については、よりよい紙面づくりのための豊富な支援事例とノウハウ、アイデアをもっていました。当委員会の編集作業においては、耳の痛い点が多くあり企画物やレイアウトの案など市民に読んでもらえる紙面づくりのためになお一層の努力が必要であることを痛感しました。



小川一彦議員が9月30日辞職しました。

銚田市ホームページから会議録を閲覧することができます。

<http://www.city.hokota.lg.jp/>



(飯塚記)

社会がめまぐるしいスピードで変化するなか国政においては、小泉内閣、5年5ヶ月の期間が終わりをつげ、51歳の戦後最少の安倍内閣が誕生しました。側近には勉強会を一緒にした人達と老壮青を中心とした人事のように思われました。

銚田市議会に於いては平成18年第3回定例会が行われました。一般会計補正予算から平成17年度一般会計歳入歳出決算認定、その他でした。銚田市議会だより第5号をお届けしますが、皆さんに読んでいただけるよう、編集委員ががんばって紙面づくりをしております。又議会を傍聴いただければ市を知る最もよい機会と思っております。

## 編集後記